

# 環境マネジメントシステム

全員参加を基本に、  
 全社および事業所・部門ごとの  
 PDCAサイクルを回しています。

リコーグループの環境マネジメントシステムは、グローバルな環境経営を実現するための重要なツールのひとつです。グループ全体および事業所・部門ごとのPDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを回し、マネジメントレビュー<sup>\*1</sup>や環境会計によって各事業所・各部門での環境行動計画<sup>\*2</sup>の達成状況を確認するとともに、事業所・部門ごとの全員参加の活動を推進しています。また、全社の戦略的目標管理制度に「環境」の項目を取り入れ、部門別の業績評価<sup>\*3</sup>を行っています。

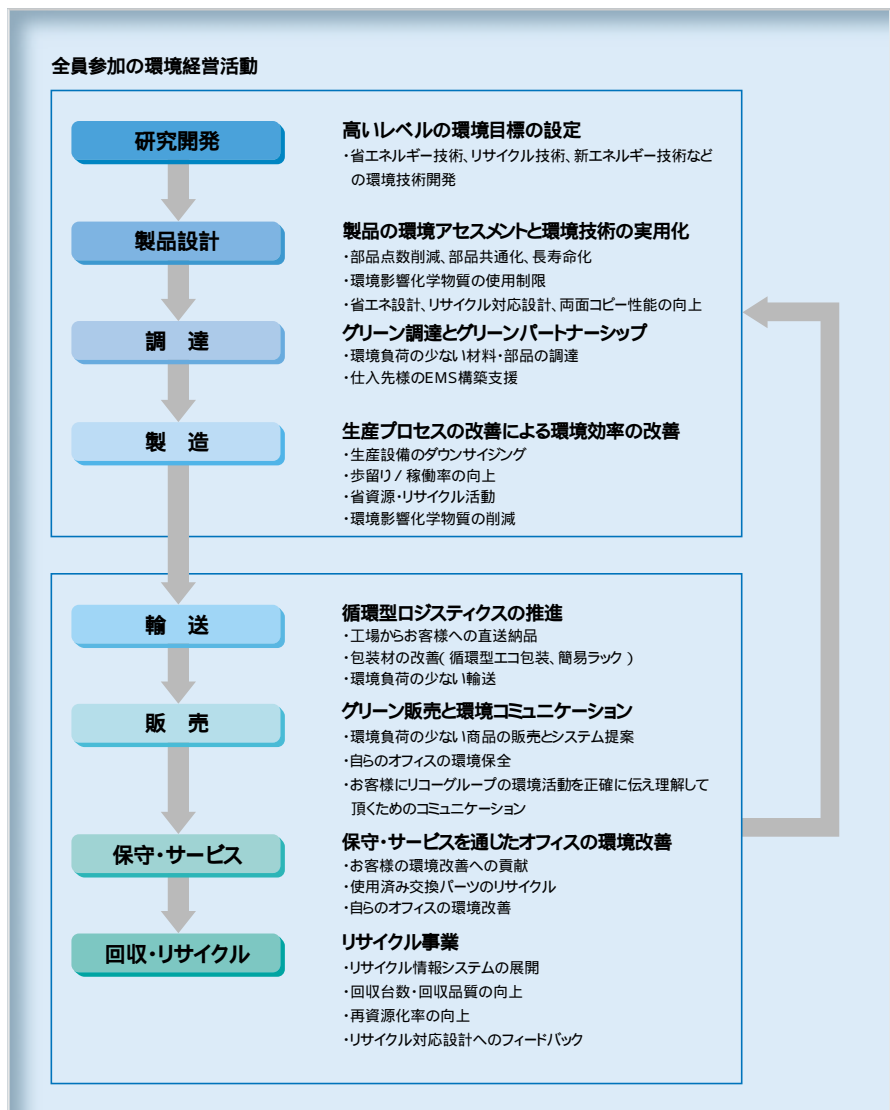
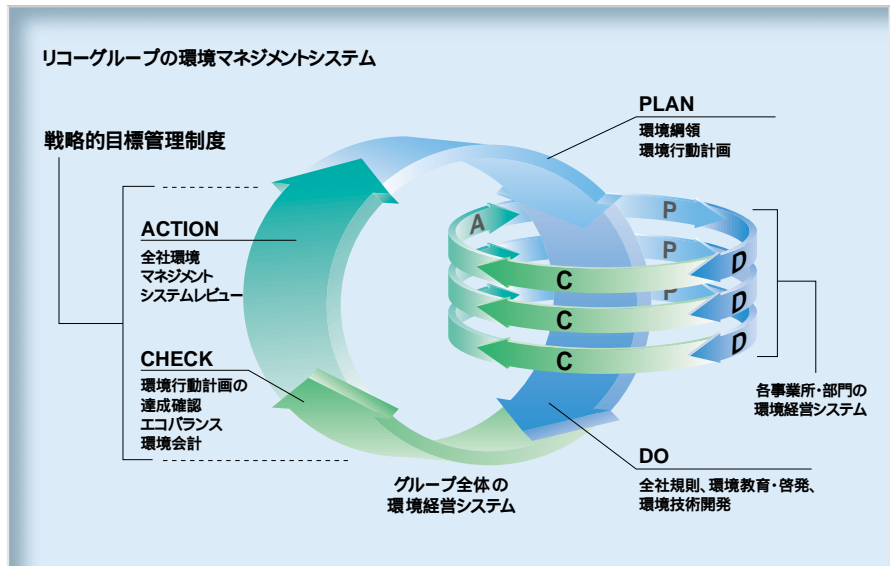
- \*1 経営層による環境マネジメントシステムの適切性・有効性の見直しをいいます。
- \*2 33ページを参照。
- \*3 環境経営推進体制(22ページ)の図に表示されていない部門に対しても、「環境」の項目を取り入れた業績評価が行われます。

「環境経営を促進する表彰制度」「サステナビリティ自己評価プログラムの開発」「環境経営評価の実施」については、トピックス15ページを参照。

## 全員参加の活動

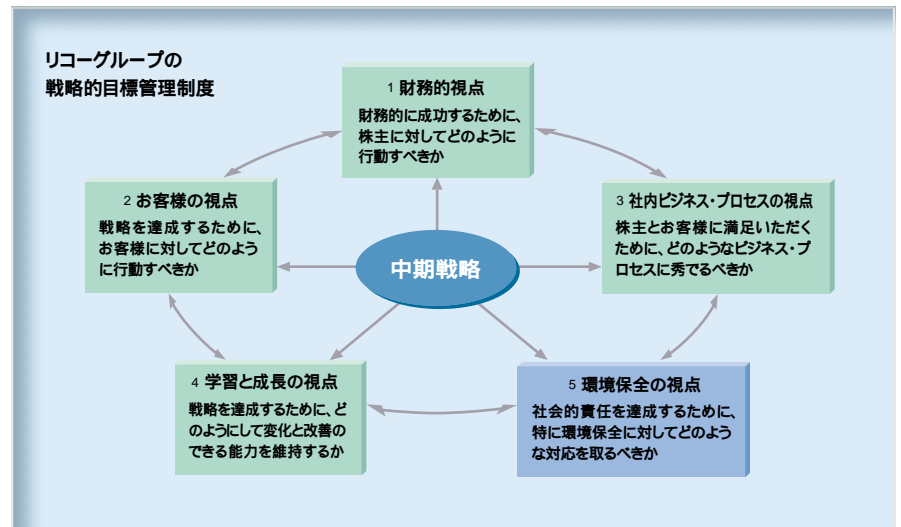
環境経営を実現するために、リコーグループは「全員参加」を基本に取り組んでいます。「全員参加」とは、研究開発から製品設計、調達、製造、輸送、販売、保守・サービス、回収・リサイクルに至るまでの各部門の一人ひとりが、環境の企画部門のつもりで活動を実施することを意味しており、これらの活動は、利益創出を追求する「QCD活動<sup>\*</sup>」と、ほぼイコールになっています。また、活動のレベルアップを図るために、各極や委員会ごとの会議や社内ベンチマーキングも随時開催し、ノウハウの水平展開を図っています。

\* 品質(Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery)の管理改善活動。



## 戦略的目標管理制度

リコーでは、環境活動の評価基準を明確にし、部門の業績評価に結びつける仕組みとして、1999年から「戦略的目標管理制度」を導入しています。これは、1990年代にアメリカで開発された「パラシスト・スコアカード」の4つの視点に「環境保全」の視点を加えた戦略的な目標管理の手法です。グローバルな環境経営を実現するために、リコーグループ全体に「戦略的目標管理制度」の展開を進めています。



## 環境監査

リコーグループでは、内部監査員が、各事業所の環境監査を行うとともに、各事業所のトップに結果を報告し、効果的にPDCAが回るようにしています。

## 環境マネジメントシステムの構築状況

リコーグループは、国際的にビジネスを展開するグローバル企業として、国際的な

合意を得たISO14001を尊重し、1995年12月25日に、リコー御殿場事業所が、日本の認証機関によるISO/DIS14001の第1号認証を受けました。さらに、グループとして統一されたマネジメントシステムを構築するため、2001年12月14日、日本のリコー販売グループ(販売事業本部・販売会社等)全49社・410サイトで一括認証取得するなど、マルチサイトでの認証

取得を推進してきました。2002年度末現在、世界の生産拠点・営業拠点など、対象80拠点890サイトがISO14001の認証を取得しています。また、各事業所・部門において環境経営度の高い活動を推進するために、「戦略的目標管理制度」も順次取り入れています。

### リコーグループの事業所・部門別ISO14001認証取得状況(2002年4月～2003年3月)

2002年度3月以前の取得状況については、ホームページをご覧ください ( <http://www.ricoh.co.jp/ecology/system/iso.html> )

拠点名(事業所名/会社名)	所在地	審査登録機関	認証登録日				
				Lanier United Kingdom Ltd	イギリス	LRQA	2003.01.30
RICOH( SINGAPORE )PTE LTD	シンガポール	BSI	2002.04.18	Ricoh Corporation( MV Facility )	アメリカ	UL	2003.02.10
GESTETNER OFFICE EQUIPMENT ( CHINA )CO LTD	中国	NQA	2002.05.20	Ricoh Corporation( WC Facility ) Corp )	アメリカ	UL	2003.02.10
REX ROTARY	フランス	AFAQ	2002.05.22	Ricoh Corporation( PB Facility )	アメリカ	UL	2003.02.10
理光国際(上海)有限公司	中国	BVQI	2002.06.06	Ricoh Corporation( Tustin Facility )	アメリカ	UL	2003.02.10
Ricoh( Thailand )Company Limited	タイ	MASCI	2002.06.28	Lanier Nederland	オランダ	BVQI	2003.02.21
Lanier Deutschland GmbH & Co. KG	ドイツ	TUV	2002.09.06	Lanier ( Switzerland )Ltd	スイス	SGS	2003.03.25
リコー三愛サービス株式会社	日本	JQA	2002.10.18	Lanier Espana S. A. U.	スペイン	TUV	2003.04.04*1
RICOH SOUTH AMERICA DISTRIBUTION CENTER S.A.	ウルグアイ	LATU	2002.11.27	Lanier Burosysteme GmbH & Co. KG	オーストリア	BVQI	2003.02*2
LANIER ITALIA SPA	イタリア	CISQ	2003.01.24	Lanier Europe B.V. / Lanier Belgium N.V. / S.A.V.	ベルギー	BVQI	2003.03*2

\*1 2003年3月中に審査が終了し、合格内定を受けていましたが、登録証の発行日付けが4月以降となったものです。

\*2 2003年3月中に審査が終了し、合格内定を受けていましたが、5月1日現在登録証発行待ちのものです。